

インフルエンザ(2026年第12週)疫学情報

《コメント》

2026年第12週の定点当たり報告数は9.75(患者報告数37,043)となり、前週の定点当たり報告数11.66よりも減少した。都道府県別では北海道(21.58)、石川県(21.36)、長野県(20.62)、富山県(18.38)、鳥取県(16.79)、新潟県(16.71)、島根県(16.45)、福井県(16.00)、岩手県(14.67)、青森県(14.19)、愛媛県(14.11)の順となった。全国47都道府県中、4都道府県では前週の報告数よりも増加し、42都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は284例であり、前週(287例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(21例)、1~4歳(46例)、5~9歳(57例)、10代(49例)、20代(9例)、30代(13例)、40代(12例)、50代(5例)、60代(19例)、70代(27例)、80歳以上(26例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近5週間(2026年第8週~2026年第12週)では、B型が345件(96%)、AH3亜型が11件(3%)、AH1pdm09が4件(1%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://idw-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。